

はじめに

東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センターでは、平成17年に重点研究費として「日本と中国における教師教育に関する比較研究」を申請し、採択された。

この重点研究の目的は、共に変化が激しい日本と中国において、急激に進む教育改革に応じて優れた教育実践を可能にするための教師教育（高度職業人としての教員養成および教員研修）に関する取り組みの実態や課題等を明らかにし、我が国の今後の教師教育の在り方を提示していくことである。

その重点研究費の一環として、中国・東北師範大学を訪問（平成17年12月12日～15日、坂井俊樹センター長、三石初雄、岩田康之、池田延行の4名）し、研究交流や関連する資料収集などを行った。

この東北師範大学の訪問では、大学教務担当教官と両大学の教師教育課程や教育実習に関する意見交換を行った。また、大学内の比較教育研究所での研究交流会や遠隔教育の現状などに関する意見交換会などを行った。さらに、長春市内にある吉林省教育学院を訪問する機会も得た。この吉林省教育学院は現職教員の研修を実施する機関でもある。

これらの交流や訪問によって、東北師範大学の教師教育課程、遠隔教育の現状、吉林省教育学院の概要などに関する資料を入手した。

ここでは、収集した資料のうち、以下の5点について日本語に翻訳して資料編として作成することとした。

1. 東北師範大学・本科におけるカリキュラム計画の改訂の基本的な考え方（
（東北師範大学本科教育指導カリキュラム計画表、東北師範大学教員資格教育カリキュラム表 付き）
2. 東北師範大学における遠隔教育の現状
3. 吉林省教育学院概況
4. 中国教育部公文書
5. 模範型県レベル教員研修機関評価基準

なお、日本語への翻訳については、以下の者の協力を得た。

- ・ 梁 紅 （東京学芸大学大学院教育学研究科学学校教育専攻2年）
- ・ 李 桃林（東京学芸大学大学院教育学研究科学学校教育専攻1年）

また、日本語への翻訳の校閲は池田延行が担当した。

平成18年3月

文責 池田伸行